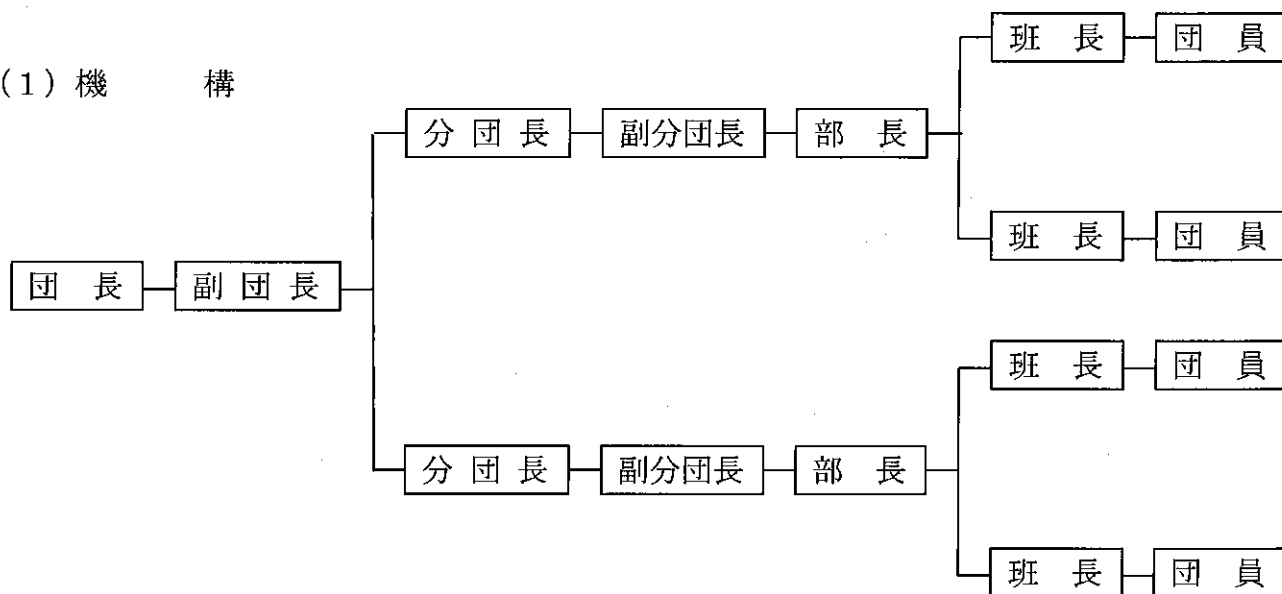


# 消 防 団

# 消 防 団

## (1) 機 構



## (2) 忠岡町消防団沿革の概要

- |         |      |   |
|---------|------|---|
| 大正 5 年  | 4 月  | 忠岡村消防組が結成される。<br>手押し式ポンプ 1 台購入配置する。                                       |
| 昭和 10 年 | 10 月 | 普通ポンプ自動車（インターナショナル）1 台購入と同時に消防屯所を建設する。                                    |
| 昭和 14 年 | 4 月  | 警防団令の公布により、忠岡村消防組を廃止し、忠岡町警防団と改称する。  |
| 昭和 22 年 | 8 月  | 消防団令の公布により、忠岡町警防団を廃止し、忠岡町消防団と改称する。  |
|         | 8 月  | 初代消防団長に谷野 重義氏就任する。  |
| 昭和 24 年 | 4 月  | 泉北郡忠岡町忠岡 151 番地 1 に新消防庁舎竣工に伴い移転する。  |
| 昭和 27 年 | 3 月  | 大阪府消防協会より竿頭綬を授与される。   |
| 昭和 33 年 | 3 月  | 大阪府知事より竿頭綬を授与される。   |
| 昭和 34 年 | 11 月 | 泉北郡忠岡町長より功績表彰を授与される。  |
| 昭和 39 年 | 12 月 | ニッサンジュニア号、普通ポンプ自動車（125 馬力）1 台購入配置する。                                      |
| 昭和 40 年 | 10 月 | 忠岡町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例が制定される。（条例定数 25 名）                              |
| 昭和 41 年 | 不詳   | 谷野団長泉北地区支部長に就任する。（昭和 44 年退任する。）   |
|         | 11 月 | 第 10 回大阪府消防操法競技大会において自動車ポンプ操法に出場、敢闘賞に入賞する。                                |
| 昭和 43 年 | 3 月  | （財）日本消防協会より竿頭綬を授与される。   |
|         | 8 月  | 第 12 回大阪府消防操法競技大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝すると共に泉北地区支部（和泉市消防団 1 位・忠岡町消防団）総合優勝を飾る。 |
| 昭和 44 年 | 2 月  | 第二代消防団長に戸田 一義氏就任する。   |
|         | 12 月 | 泉北郡忠岡町忠岡 650 番地 5 に建設の新庁舎竣工に伴い移転する。                                       |

昭和 45 年	4 月	忠岡町消防団員定数条例が改正される。(条例定数 30 名)
昭和 46 年	8 月	第 15 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
昭和 49 年	3 月	大阪府・大阪府消防協会より多年の功績により表彰旗を授与される。
	12 月	忠岡町消防団解散する。
昭和 50 年	8 月	忠岡町消防団発足し、第三代消防団長に花野 喜久三氏就任する。
昭和 51 年	3 月	消防庁長官より災害の防除と消防力強化の成績優秀により竿頭綬を授与される。
	10 月	第 20 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 3 位に入賞する。
昭和 52 年	9 月	トヨタ BS-1 型普通ポンプ自動車 (115 馬力) 1 台購入配置する。
	10 月	第 21 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 2 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾る。
昭和 54 年	10 月	第 23 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 1 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾る。
昭和 56 年	4 月	花野団長泉北地区支部長に就任する。(昭和 58 年 4 月 9 日退任する。)
	7 月	泉北地区支部総合訓練を忠岡町において実施する。
	10 月	第 25 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
昭和 57 年	2 月	(財) 日本消防協会より表彰旗を授与される。
	9 月	(財) 日本消防協会より小型動力ポンプ積載車 (トヨタ・ハイエース改良型) 1 台寄贈を受け配置する。
	9 月	第 26 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 3 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾る。
	10 月	第 8 回全国消防操法大会 (東京都) において自動車ポンプ操法に大阪府代表として出場を果たす。
昭和 58 年	4 月	第四代消防団長に勝元 常雄氏就任する。
	10 月	第 27 回大阪府消防操法訓練大会において泉北地区支部 (和泉市消防団 1 位・忠岡町消防団 4 位) 総合優勝を飾る。
昭和 59 年	9 月	第 28 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 1 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾る。
	11 月	トヨタ BD-1 型普通ポンプ自動車 (115 馬力) 1 台購入配置する。
昭和 60 年	10 月	第 29 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 2 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾り、4 年連続総合優勝の表彰を授与される。

昭和 61 年	3 月	大阪府知事より多年の功労により表彰旗を授与される。
	9 月	第 30 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。(和泉市消防団 1 位)
昭和 62 年	10 月	第 31 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 3 位に入賞する。
	11 月	消防互助年金推進に務めた功績により (財) 日本消防協会より感謝状を授与される。
昭和 63 年	3 月	(財) 日本消防協会より竿頭綬を授与される。
	9 月	第 32 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
平成元年	3 月	消防庁長官より災害の防除と消防力の強化の成績特に優秀により表彰旗を授与される。
平成 2 年	3 月	大阪府消防協会より竿頭綬を授与される。
	9 月	第 34 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 3 位に入賞する。
平成 3 年	6 月	産経新聞社より火災現場での防除活動の功績により第 6 回「大阪の消防大賞」を授与される。
	10 月	第 35 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
平成 5 年	6 月	産経新聞社より火災現場での防除活動の功績により第 8 回「大阪の消防大賞」を授与される。
	10 月	第 37 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
	11 月	三菱 CD-1 型普通ポンプ自動車 (120 馬力) 1 台購入する。
平成 6 年	2 月	日本消防協会長より特別表彰「まとい」を授与される。
	9 月	第 38 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
平成 7 年	4 月	多年にわたる消防活動の推進に寄与した功績により勝元常雄団長に藍綬褒章を授与される。
平成 8 年	6 月	勝元常雄団長泉北地区支部長に就任する。(平成 9 年 3 月 31 日退任する。)
	8 月	日本消防協会より小型動力ポンプ積載車 (日産アトラス) 1 台寄贈を受け配置する。
	8 月	泉北地区支部総合訓練を忠岡町において実施する。
	9 月	第 40 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 3 位に入賞する。
平成 9 年	6 月	泉北地区支部初任団員普通教育及び幹部団員特別教育を忠岡町において実施する。
	9 月	第五代消防団長に山野 義則氏就任する。
平成 10 年	9 月	第 42 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
平成 11 年	9 月	第 43 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 3 位に入賞する。
平成 12 年	9 月	第 44 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝を飾る。

- 平成 13 年 10 月 三菱 CD-1 型普通ポンプ自動車 (130 馬力) 1 台購入配置する。  
9 月 (財) 日本消防協会より竿頭綬を授与される。  
第 45 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
- 平成 14 年 2 月 平成 13 年度共済還元事業 (日本消防協会) より、指揮広報車 (日産シルフィ) 1 台寄贈を受け配置する。  
9 月 第 46 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞すると共に泉北地区支部 (和泉市消防団 1 位・忠岡町消防団) 総合優勝を飾る。
- 平成 15 年 10 月 大阪府泉北郡忠岡町忠岡北 1 丁目 1 番 23 号、忠岡町消防本部 (署) の新庁舎竣工に伴い移転、業務を開始する。
- 平成 16 年 5 月 泉北地区支部初任団員普通教育及び幹部団員特別教育を忠岡町において実施する。  
6 月 山野義則団長泉北地区支部長に就任する。(平成 17 年 3 月 31 日退任する。)  
9 月 第 48 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
- 平成 17 年 2 月 市町村合併により堺市美原消防団が発足する。(条例定数 50 名)  
4 月 多年にわたる消防活動の推進に寄与した功績により山野義則団長に藍綬褒章を授与される。  
4 月 岸和田市消防団が発足する。(条例定数 30 名)  
7 月 産経新聞社より火災現場での防ぎよ活動の功績により第 20 回「大阪の消防大賞」を授与される。
- 平成 18 年 7 月 泉大津市消防団が発足する。(条例定数 60 名)  
8 月 泉北地区支部総合訓練を忠岡町において実施する。
- 平成 20 年 2 月 高石市消防団が発足する。(条例定数 50 名)  
4 月 忠岡町消防団員定数条例が改正される。(条例定数 45 名)  
4 月 機構改革により分団制 (2 分団) が施行される。  
5 月 泉北地区支部初任団員普通教育及び幹部団員特別教育を忠岡町において実施する。
- 平成 21 年 7 月 日野 CD-1 型普通ポンプ自動車 (150 馬力) 1 台購入配置する。  
8 月 泉北地区支部総合訓練を忠岡町において実施する。  
9 月 第 53 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、優勝を飾る。
- 平成 23 年 7 月 第六代消防団長に山野 正夫氏就任する。
- 平成 25 年 7 月 機構改革により副団長 3 名制が施行される。  
3 月 (財) 大阪府消防協会より表彰旗を授与される。
- 平成 26 年 4 月 機構改革により 6 班制が施行される。
- 平成 27 年 3 月 総務省消防庁より、ダイハツ小型動力ポンプ積載軽自動車及び消防団拠点資機材を貸付される。
- 平成 27 年 9 月 第 59 回大阪府消防操法訓練大会において自動車ポンプ操法に出場、第 2 位に入賞する。
- 平成 29 年 4 月 第七代消防団長に國本 都央氏就任する。
- 平成 29 年 4 月 機構改革により 4 班制が施行される。  
5 月 トーハツ可搬式小型消防ポンプ一式 VC72 PROIII 1 台購入配置する。

令和3年 4月 國本都央団長泉北地区支部長に就任する。

## (3) 消防団員階級別定員及び現在員

区分	階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
		定 員	1	3	2	2	2	6	29
現 在 員		1	3	2	2	2	4	17	31

## (4) 消防団員在職年数

在職年数	階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
		5 年 未 満							4
5 年 以 上 10 年 未 満							8	8	
10 年 以 上 15 年 未 満							3	3	
15 年 以 上 20 年 未 満							1	1	
20 年 以 上 25 年 未 満						3	1	4	
25 年 以 上 30 年 未 満					2	1		3	
30 年 以 上		1	3	2	2			8	
計		1	3	2	2	2	4	17	31

平均年数21年

## (5) 消防団員年齢状況

年齢	階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
		25 歳 未 満							1
25 歳 以 上 30 歳 未 満							3	3	
30 歳 以 上 35 歳 未 満							6	6	
35 歳 以 上 40 歳 未 満							5	5	
40 歳 以 上 45 歳 未 満								0	
45 歳 以 上 50 歳 未 満					1	4	2	7	
50 歳 以 上 55 歳 未 満								0	
55 歳 以 上 60 歳 未 満					1			1	
60 歳 以 上		1	3	2	2			8	
計		1	3	2	2	2	4	17	31

平均年齢46歳

## (6) 消防団員教養訓練実施状況

教養訓練種別	回	数	人	員	時	間
定例訓練	5		77		12.5	
初級指導課程	1		1		5.5	
計	6		78		18	

## (7) 消防団員出動状況

区分	種別	火災	歳末警戒	その他
		回	2	5
人	員	11	28	2
平均	出動人員	6	6	1

## (8) 消防機械

車両番号	登録年月日	車種	原動機性能		ポンプ性能		経過年数	種別
			気筒	馬力	種別	1分間放水量		
和泉88 す8953	H8 8.26	日産 アトラス 団積載車2	4	91	2,000cc		25年 5ヵ月	積載車
和泉830 ひ119	H12 10.20	三菱 キャンター 団2	4	130	タービン	2,000L	21年 3ヵ月	普通消防 ポンプ自動車
和泉800 さ5311	H14 2.26	日産 フルード 指揮広報車	4	120	1,800cc		18年 11ヵ月	指揮広報車
和泉832 ま119	H21 7.30	日野 団1	4	150	タービン	2,500L	12年 6ヵ月	普通消防 ポンプ自動車
和泉880 あ1526	H26 2.17	ダイハツ ハイゼット 団積載1	3	50	658cc		7年 11ヵ月	小型動力 ポンプ積載車
	H26 2.17	トヨタ 号	4	30	タービン	1,200L	7年 11ヵ月	可搬式小型 動力ポンプ
	H29 5.19	トヨタ VC72PRO III	2	30	タービン	1,290L	4年 7ヵ月	可搬式小型 動力ポンプ

## (9) デジタル波無線概況

車載型移動局無線装置

通信方法:2波複信(基地局通信)・1波単信(直接通信)

団1	団1	ただしよ だん 1	1	10W
団2	団2	ただしよ だん 2	1	10W
団積載車1	団積載 1	ただしよ だんせきさい 1	1	10W
団積載車2	団積載 2	ただしよ だんせきさい 2	1	10W
指揮広報車	指揮広報	ただしよ しきこうほう	1	10W

携帯型移動局無線装置

通信方法:1波単信・2波単信

団	携帯 11	ただしよ 11	団 1	1	5W
	携帯 12	ただしよ 12	団 1	1	5W
	携帯 13	ただしよ 13	団 2	1	5W
	携帯 14	ただしよ 14	団 2	1	5W
	携帯 15	ただしよ 15	団積載 1	1	5W
	携帯 16	ただしよ 16	団積載 2	1	5W
	携帯 17	ただしよ 17	指揮広報	1	5W
	携帯 18	ただしよ 18	通信室	1	5W
	携帯 19	ただしよ 19	通信室	1	5W
	携帯 20	ただしよ 20	通信室	1	5W